

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 保健医療学部

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

名 前 柴田 雅祥

作成日 2023年9月26日

1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

主に以下の科目を担当しています。

「心身健康科学」「神経系理学療法学」「神経系理学療法学実習」「理学療法総合演習Ⅴ」「理学療法総合演習Ⅵ」「理学療法総合演習Ⅶ」

大学全体のディプロマ・ポリシー2にある「専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得」、リハビリテーション学科 理学療法学専攻のディプロマ・ポリシー2「理学療法を科学的な根拠に基づいて基本的な専門知識と技能を、保健・福祉・介護・教育などの分野において汎用できること」を達成することが責務であると意識しています。

2. 理念（教育に対する考え方）

理学療法士は主に障害をもった方を対象とする職業です。ですから理学療法士は人に対する洞察力が求められます。洞察力を深めるためには、身体機能・精神機能についてはもちろんのこと、生活、とりまく環境など、多くの知識をつけることが大切です。加えて、それらについて科学的に分析する能力も必要となります。講義・実習を通してそのような知識・能力を伸ばしていただきたいと思います。また、日々の大学生活のなかで友人・教員など多くの人と接し、自分と違った考えがあることを知り、そこから学び吸収する態度も、人を深く知るためには大切です。

人について深く考え、洞察を深め、行動できること、つまり人間を総合的に科学的に理解、行動すること、これは人間総合科学大学の教育研究上の目的である「よりよく生きるための知恵（Knowledge for well-being）の創出」の中核ではないかと思えます。

人について深く考え行動できる理学療法士を目指し、大学生活全体から様々なことを学んでいって下さい。

3. 方法（教育方法において大切にしていること）

リハビリテーション学科 理学療法学専攻のディプロマ・ポリシー2に「理学療法を科学的な根拠に基づいて基本的な専門知識と技能を、保健・福祉・介護・教育などの分野において汎用できること」とありますが、「神経系理学療法学」においては、脳血管障害患者に対する理学療法についての科学的根拠の紹介を心がけています。また、「神経系理学療法学演習」においては理学療法治療の具体的な手技に重きをおいて、様々な臨床の場面で実施できる汎用性に富んだ実践的能力の獲得を目指しています。また、大学全体としてのディプロマポリシーにリベラルアーツ教育により「現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力」を身に付けるとありますが、専門教育における科学的思考が、生きる力を育む洞察力を高めると考えています。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

「神経系理学療法学」「神経系理学療法学演習」のここ数年の授業アンケートにおいて、授業の方法・授業運営・総合評価について良好な評価を頂いています。自由記載においても「教え方が丁寧で分かりやすい」「神経系疾患の病態や介入方法について、実技を踏まえ詳しく学習できた」「臨床を想定したケースについての説明が丁寧」といった評価を頂いています。普段から心がけていることが評価されて嬉しく、さらに良い方向へ改善をと思っています。

また、これまで「毎回、授業の復習を行いましたか」の評価が低い傾向にありましたが（一昨年度 3.5 点（満点 5.0 点））改善傾向にあり（昨年度 4.1 点）、復習の重要さの理解をすすめることが出来ました。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

主に中枢神経疾患の理学療法に関する科目を担当していますが、教育活動の中短期目標として以下の2つを考えています（達成時期：①は2～3年後までに、②は3～5年後までに）。

- ① 臨床現場の理学療法士から中枢神経疾患の理学療法において現在実施している手技・プログラムに関するアンケートを行い、講義・実習が現場のニーズに即したものであるかを検討し、改善を図る。
- ② 最近、理学療法治療の発展に、ロボットスーツや電気刺激を利用したテクノロジーの関与が挙げられるが、実際の機器の紹介・利用を講義・実習に組み入れることを検討し、実現性を考慮しながら、可能な範囲で実施する。

* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

- * TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。（シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。）